

第 30 回日本生命倫理学会
公募セッションおよび一般演題募集（2018 年 4 月 27 日）
修正版（修正箇所は赤字にしております）

大会長 瀬戸山 晃一（京都府立医科大学）

1. 演題募集

生命倫理学および関連分野に関するあらゆる演題を募集いたします。

2. 演題募集期間

2018 年 4 月 27 日（金）～6 月 22 日（金）正午まで

申し込み後の修正・削除は一切受け付けませんのでご注意ください。

3. 応募資格

公募セッション（シンポジウム・ワークショップ）のオーガナイザーおよび一般演題（口演・ポスターセッション）の発表者は、日本生命倫理学会の正会員か学生会員、または入会手続き中の方に限ります。入会方法は、学会ホームページでご案内しています。演者（発表者）以外に非学会員が含まれる場合、全ての共同研究者が会員で構成される発表を優先して採択する場合があります。

公募セッション（シンポジウム・ワークショップ）に関して、オーガナイザーは「正会員」である必要がありますが、報告者に関しては「最大 2 名まで非会員でも可能」です。

※尚、公募セッション（シンポジウム・ワークショップ）の報告者となられる非会員の方については、大会参加費は徴収致しませんが、懇親会に参加される場合、懇親会費はお支払い下さい。

4. 発表形式

一般演題（口演・ポスター）、公募セッション（シンポジウム・ワークショップ）を募集します。

■一般演題

- ・口演：発表 10 分＋質疑応答 10 分
- ・ポスターセッション：発表 5 分＋質疑応答 5 分

ポスターのパネルサイズ（縦 118.9cm×横 84cm）A0 サイズ相当。

一般演題 ポスター	希望カテゴリー：A.生命倫理の基本概念	第 会場
演 題 名	○○▲▲問題と生命倫理	
氏 名 (所 属)	共同演者（※全員学会員であること）を含む 下鴨太郎（北山大学文学研究科） 上賀茂花子（東山大学生命倫理学研究科）	
専門分野	生命倫理学	

キーワード	(5つまで) 生命倫理 道徳的ジレンマ 社会
発表形式	口演 / ポスター / どちらでも良い (希望以外を消して下さい)
発表形式	PCおよびプロジェクターを使用する / 使用しない (どちらかを消して下さい)

*口演で応募された場合でも、状況によりポスター発表とさせていただくことがあります。

<「若手優秀口演賞」「若手優秀ポスター賞」について>

*本学会の若手会員による優れた研究報告を表彰することにより、若手会員の学会参加を促進し、また今後の研究活動の発展を支援・奨励するために、新たに「若手優秀口演賞」及び「若手優秀ポスター賞」を創設しました。口演とポスター発表について、応募者の当日の発表を審査し、原則として各1名の受賞者を決定します。対象は、以下の応募資格に該当し、審査対象になることを希望される方とします。候補となった口演は、希望カテゴリー以外のセッションでの発表となる可能性があります。受賞者は大会期間中に発表いたします。ぜひ、ふるってご応募ください。

<応募資格>

1. 原則として、筆頭発表者が40歳未満の方(2019年3月31日時点)とします。
2. 筆頭発表者が40歳以上で、以下のいずれかにあてはまる場合には、これを証明もしくは事情を説明する文書を提出することにより、応募可能とします。これらの文書は、2018年6月15日までに(当日消印有効)、日本生命倫理学会事務局宛に郵送して下さい。
 - a) 年次大会期間中に大学院修士課程・博士課程在学中の方
→学生証または在学に関する証明書の複写を郵送して下さい
 - b) 2019年3月31日時点で博士号を取得して3年以内の方
→学位記または学位取得に関する証明書の複写を郵送して下さい
 - c) 2016年4月1日以降に、初めて博士研究員・助教(任期つきを含む)の職を得た方
→職歴を記載した文書(自由書式で400字以内)と、証明できるものがある場合はその複写を郵送して下さい
 - d) 育児・介護・病気療養などで1年以上の研究中断があり、演題募集締切日までに復帰している方
→ご事情を記載した文書(自由書式で800字以内)と、証明できるものがある場合はその複写を郵送して下さい

<「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の遵守について>

*「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」(文部科学省・厚生労働省)、「臨床研究法」(厚生労働省)の対象となる研究については、同指針を遵守し、審査を行った倫理審査委員会の名称と、与えられた承認番号を抄録に記載してください。

*同指針の対象外であっても、人を対象とした調査研究に関する発表の場合は、下記のいずれかを抄録に記載してください。

- ・ (倫理審査委員会による審査が行われた場合) 審査を行った倫理審査委員会の名称と、与えられた承認番号を抄録に記載。
- ・ (倫理審査委員会による審査が行われなかった場合) 研究対象者に対する事前の説明と同意(研究協力及び結果の公表を含む)が適切に実施されたことを抄録の本文中に記載。

*なお、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」では、研究対象者への侵襲や負担に関する考え方や匿名のアンケートやインタビュー調査などでのインフォームド・コンセントのありかたが示されており、同指針の対象外となる研究を実施する際にも、参考にして下さい。

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hokabunya/kenkyujigyou/i-kenkyu/>

*また、演題登録の段階で応募者自身が「指針に該当しない」と判断した場合であっても、査読の結果、実行委員会が「指針に該当する」と判断した場合には、その旨を応募者に通知し、抄録の記載を修正して頂くこともあります。

<COI (利益相反) の開示について>

*各発表者における COI (利益相反) については、演題発表に関連して開示すべき利益相反がある場合のみ、「COI 開示に関するスライド」をダウンロードし、口頭発表においてはパワーポイントの冒頭に、ポスター発表においても冒頭に掲示して下さい。

*開示すべき利益相反がない場合は、何もする必要はありません。

*なお、COI (利益相反) の詳細に関しては、以下 URL にアクセスし、日本医学会「医学研究の COI マネジメントに関するガイドライン」をご参照下さい。

http://jams.med.or.jp/guideline/coi-management_2015.pdf

<二重投稿について>

※発表内容に関しては原則として、未発表のものとしします。

<公募カテゴリー>

- A.生命倫理の基本概念
- B.研究倫理、産学連携
- C.先端医療技術、医療化
- D.医療経済、資源配分、公共政策
- E.臨床倫理、看護倫理
- F.生殖医療、産育、家族
- G.ケア、介護、福祉
- H.終末期医療
- I.宗教、思想、文化
- J.環境・自然保護、大規模災害
- K.医療安全、医薬品評価

L.生命倫理教育

M.その他

*カテゴリーは変更される場合があります。

■公募セッション

90分のセッションを公募します。第30回年次大会では、本学会の特色である学際性の観点から異分野の研究者間の学際的な知的連携による「知の協創としての生命倫理学」をテーマとしています。そのため、公募シンポジウムやワークショップにおいても異なる専門分野の発表者で構成される学際的な企画の応募を心よりお待ちしております。なお応募多数の場合には、採否において学際的なテーマや専門分野が多様な発表者で企画・構成されているものを優先して採択する方針であります。ご希望にそえない可能性もありますので、ご了承ください。

公募シンポジウム

- ・90分（報告時間60分以内、フロアを交えたディスカッション30分以上）
- ・収容人数 100～200名程度
- ・公募シンポジウム申込書に例のように記入してください。
- ・採否決定後、各報告者の発表要旨を提出していただきます。

	公募シンポジウム	会場
タイトル	〇〇▲▲問題と生命倫理	
氏名（所属）	オーガナイザー：日向太郎（日南大学文学研究科） 5分 シンポジスト： 1 祇園花子（七条大学生命倫理学研究科） 20分 2 烏丸一郎（御池大学倫理学研究科） 20分 ※報告時間もご記入ください 3（ ）分 4（ ）分 パネルディスカッション（ない場合は「0分」として下さい） 15分 ※オーガナイザー・シンポジストの報告とパネルディスカッションで計60分以内	
キーワード	（5つまで） 生命倫理 道徳的ジレンマ 社会	
発表方法	PCおよびプロジェクターを使用する / 使用しない（どちらかを消して下さい）	

ワークショップ

- ・90分（報告時間45分以内、フロアを交えたディスカッション45分以上）

- ・収容人数 50人～100名程度
- ・公募ワークショップ申込書に例のように記入してください。
- ・ワークショップの各報告者の発表要旨は不要です。

	公募ワークショップ	会場
タイトル	〇〇▲▲問題と生命倫理	
氏名(所属)	オーガナイザー 下鴨太郎 (北山大学倫理学研究科) 10分 報告者: 1 祇園花子 (七条大学生命倫理学部) 10分 2 烏丸一郎 (御池大学文学研究科) 10分 3 上京桃子 (丸太町大学生命倫理学研究科) 分 4 () 分 パネルディスカッション (ない場合は「0分」として下さい) 0分 ※オーガナイザー・報告者の報告とパネルディスカッションで計45分以内	
※報告時間もご記入下さい		
キーワード	(5つまで) 生命倫理 道徳的ジレンマ 社会	
発表方法	PCおよびプロジェクターを 使用する / 使用しない (どちらかを消して下さい)	

5. 応募方法

- ①日本生命倫理学会第30回年次大会ホームページにアクセスしてください。
- ②「一般演題(口演・ポスター)」「公募シンポジウム」「公募ワークショップ」と表示されている所定のファイルをダウンロードして、下記の規定にそって応募内容を入力してください。
 - a. 発表要旨、概要本文のフォントは、MS明朝体、本文のフォントサイズは、9ポイントでお願いします。太字等の設定は、任意で使用してかまいません。
 - b. 演題タイトルおよび小見出しなどには、MSゴシック体を使用してください。
 - c. 参考文献がある場合には、要旨末尾に参照番号をつけて記してください。編集の都合により、レイアウトは修正される場合がありますので、ご了承ください。
- ③ファイルおよびメールのタイトルは、次のようにお願いします。
 公募シンポジウム応募 〇〇(お名前) / 公募ワークショップ応募 〇〇(お名前)
 一般演題 口演 〇〇(お名前) / 一般演題 ポスター 〇〇(お名前)
- ④2018年6月22日(金)正午までに、年次大会事務局のアドレスにファイル(リッチテキストファイル形式)を添付して送ってください。締め切り厳守でお願いします。

*2018年12月3日(月)～12月7日(金)までインド(バンガロール)で開催される国際生命倫理学会(IAB)の14th World Congress of Bioethicsの参加予定者で、12月8日(土)の発表が難しいことが予想される場合は、その旨、メール本文に明記してください。

6. 応募の確認・採否の通知

演題の応募を受け付けたことは、7日以内にメールで返信いたします。7日を過ぎても返信が届かない場合には、下記年次大会事務局にお問い合わせください。

申込書に記された「発表要旨／概要」を年次大会実行委員会で検討させていただき、7月下旬頃までに採否の連絡をいたします。

7. お問い合わせ先

第30回日本生命倫理学会年次大会事務局

京都府立医科大学大学院医学研究科 医学生命倫理学（人文・社会科学教室）
〒606-0823 京都府京都市左京区下鴨半木町1-5
Email : kyoto30bioethics@gmail.com

8. ホームページ

第30回日本生命倫理学会年次大会ホームページ : <https://kyoto30.bioethics.site>

9. 今後のスケジュール

4月27日～6月22日 一般演題（口演・ポスター）、公募シンポジウム、公募ワークショップの演題募集

6月8日正午 応募締め切り

7月下旬以降（予定）採否決定通知

9月 プログラム、ポスター発送

11月中旬 予稿集発送

10. 第30回日本生命倫理学会年次大会実行委員（敬称略）

瀬戸山晃一（大会長、京都府立医科大学） 野崎亜紀子（実行委員長、京都薬科大学） 吾妻知美（大会事務局長、京都府立医科大学） 赤塚京子（大会副事務局長・会計担当、京都府立医科大学） 松原洋子（学会企画委員長、立命館大学） 伊吹友秀（学会事務局長、東京理科大学） 児玉聡（京都大学） 鈴木慎太郎（愛知学院大学） 山崎吾郎（大阪大学） 鵜飼万貴子（京都府立医科大学） 亀井修（大阪物療大学） 鵜殿慧（立命館大学）

平成30年4月27日現在